



事故防止メルマガ「Think」

【発行】シンク出版株式会社 <http://www.think-sp.com/>

---

// INDEX //

- 1・2015年9月前半の安全管理ごよみ
- 2・安全管理法律相談～整備不良が原因で発生した事故
- 3・交通事故の裁判事例～事故による評価損の差額を損害として認定
- 4・今日の朝礼話題～高速道路の路肩の停車車両を警戒しよう
- 5・【新発売】小冊子「高齢者との事故を防ごう」

---

★9月前半の安全管理ごよみ

---

- ◆1日（火）～10月31日（土）  
——自動車点検整備推進運動強化月間
- ◆1日（火）  
——防災の日
- ◆3日（木）  
——睡眠の日
- ◆9日（水）  
——救急の日

※詳しくはシンク出版のWEBサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】

<http://www.think-sp.com/2015/08/10/kongetsu-untentkanri-15-9/375813089>

---

■安全管理法律相談

---

こちらのコーナーでは、WILL法律事務所の清水伸賢弁護士が安全管理上、知っておかなければならない法律知識の解説や、交通事故の裁判例の紹介を交えながら、運転管理の疑問、質問に答えます。

第28回 「整備不良が原因で発生した事故」

・質問

弊社は印刷会社ですが、先日高速道路を走行していた社員の運転する社有車がバーストして側壁に衝突する事故を起こしました。事故の原因を調べてみると、タイヤの空気圧が不足していました。幸いなことに今回は単独事故で済んだの

ですが、このような整備不良が原因で他人を巻き込んだ事故を起こすと、事業所はどのような責任に問われますか？

・ 回答

運転者だけではなく、車両を使用する者、車両等の装置の整備について責任を有する者それぞれに、具体的に使用する車両が整備不良の場合には、運転してはならないと定められています。

【続きを読む↓】

<http://www.think-sp.com/2015/08/01/houritsu-28-seibifuryou/>

---

## ■交通事故の裁判事例

---

今回は事故前の車両評価額に比べ、事故による修理後の車両の評価額が下がった分を損害として認めた事例を取り上げます。

『事故により評価損が発生し、その差額全額を損害として認定』

### 【事故の状況】

平成19年9月28日、Aは割賦払いの最終回の時点で残存するであろう車両価格を最終回の支払い分として、最終回支払い額による車両の購入、再分割、車両返却のいずれかの方法を選択できる制度を利用して車両を購入しました。

平成22年5月27日、Aは最終回支払い時の車両価格を395万6000円と確認し、最終回支払い時に車両返却を選択する旨をディーラーに申し出ました。

ところが、平成22年6月25日横浜市内の駐車場に車を止めていたときにBの乗用車に衝突され、これにより車両価格が255万円と下がったため、その差額を損害としてBに請求しました。

Bは、査定のプロセスも明らかではなく評価損も多すぎると主張しましたが、裁判所は次のように述べて差額分全額を認めました。

### 【裁判所の判断】

「評価損は、事故による車両評価額の下落額によるものではなく、修理費用に一定額を乗せて算定されることが多いが、それは修理後もその車を使用し続けることを想定しているためであり、事故の時点で価格の下落が現実化しているのであれば、その賠償を認めるべきである」

「Aは事故前に車両返却を選択しており、事故がなければ支払いは発生しなかったが、事故により追加支払いが発生しており、その額の賠償を求めることができる」

「255万円の査定額は、特段公正を疑うべき事情が認められず、車両返却時に支払いを余儀なくされる差額は損害と認められる」として、140万6000円の損害を認定しました。

(横浜地裁 平成23年11月30日判決)

---

## ■今日の朝礼話題

---

『高速道路では路肩の停車車両を警戒しよう』

依然として高速道路で路肩停止した車両に衝突する事故があとを絶ちません。最近も、以下のような死亡事故が発生しています。

【続きを読む↓】

<http://www.think-sp.com/2015/08/17/tw-rokata-teishi-shototsu/>

シンク出版WEBサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にしていただける「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認ください↓）

<http://www.think-sp.com/about/>

---

## ■【新発売】小冊子「高齢者との事故を防ごう」

---

※仕様 B5判／16ページ／カラー刷

※価格 140円＋税（送料実費）

高齢化社会を迎え、運転者は今後ますます高齢者との事故に注意を払う必要があります。

本冊子は、高齢者の歩行中や自転車乗車中の事故パターンから、運転者と高齢者の意識のギャップにスポットをあて、運転者として取るべき運転行動を解説した事故防止教育教材です。

【詳しくはこちら↓】

<http://goo.gl/Nq0Po3>

---

【事故防止メルマガ「Think」のバックナンバーはこちら↓】

<http://goo.gl/5G5iL>

本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数ですが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

(平成27年8月18日送信)

※本メールは「MSゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。

■ □ ————— □ ■

～人と車の安全な移動をデザインする～  
シンク出版株式会社

大阪市北区天神橋1-7-15 ビアリッツ天神橋501

TEL 06-6809-1989

FAX 06-6809-1984

Eメール mail@think-sp.com

URL <http://www.think-sp.com/>

■ □ ————— □ ■